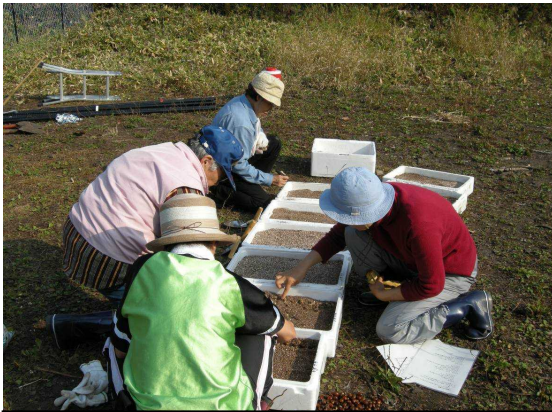


雷別ドングリ倶楽部でエゾシカ食害防護柵を設置



高さ2.0mのエゾシカ食害防護柵を手順よく設置しています。



樹種に応じた播種方法でタネを数えながら播いています。

10月22日(水)、標茶町雷別
国有林の自然再生事業地で、雷別
ドングリ倶楽部がエゾシカの食
害から苗木などを保護するた
めの防護柵設置と広葉樹タネ播
き作業を行いました。

防護柵は、タネ播きした育苗箱
やマルチキャビティコンテナに
移植した苗木を、冬の間、雷別
の事業地近くで育成するために、エ
ゾシカから保護し無事に越冬さ
せるために行ったものです。慣れ
ない作業でしたが、全員の知恵を
出し合いながら10m四方の柵
を2時間ほどで完成させました。
素人集団にしては段取りよく、満
足できる出来ばえになったので
はないかと思います。また、支柱
の打ち方、ロープの張り方など普
段自宅の畑作業でも応用ができ

ると熱心に作業に打ち込んでいる人もいました。

タネ播き作業は、秋に雷別で採取したミズナラ、ヤチダモ、シラ
カンバ、キハダ、イタヤカエデのタネを発泡スチロールの育苗箱に
播きました。タネの大きさなどに応じた播種方法や樹種ごとの発芽
率を考慮に入れながら播きつけ、午前中に完成した防護柵の中に据
え付けて、本日の作業を終了しました。